

平成29年度（第1回～第5回） まちづくりラウンドテーブル開催報告

平成28年度より開始された市民と行政の“対話の場”、“学びの場”である「まちづくりラウンドテーブル」（通称「MR T」）も今年度で2年目に突入しました。今年度第1回目はエリア制で実施し、各地区についてじっくり議論をしていただきました。

H29.07.22 東部エリア（安田・鎌手・種・北仙道）

H29.08.05 美都エリア（東仙道・都茂・二川）

H29.08.05 匹見エリア（匹見上・匹見下・道川）

H29.08.26 中部エリア（益田・吉田・真砂）

H29.08.26 西部エリア（高津・西益田・二条・美濃・中西）

今回のMRT

これまでのMRTは、20地区全体で集まった形式で実施してまいりましたが、今回は初めてのエリア制とし、益田市老人福祉計画等により設定された日常生活圏域の5つのエリアに分け、開催いたしました。

市福祉総務課と高齢者福祉課による“地域福祉”に関する説明の後、テーマを「ソーシャルな視点で地域の未来を描こう！」と設定し、住民と行政、そして益田市社会福祉協議会も加わった「対話の場」、「学びの場」とすることができました。今回のMRTにおいて参加者の皆様から出された意見等は、市の福祉計画等の策定にあたり、活用させていただきたいと思えます。

また、開催にあたっては島根県中山間地域研究センターに航空写真等を提供していただき、地域のことを一番よく知っている住民の方々でも「うちの地域にはこんなところがあるのか！」と“鳥の目”、“虫の目”で新しい発見をする場面も見られました。

当日の流れ

地域福祉について



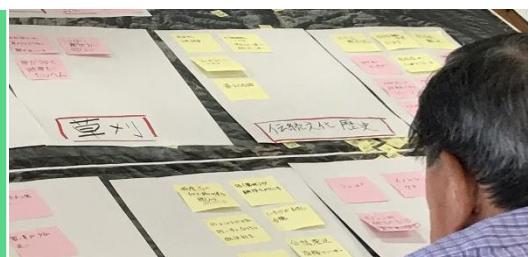
自己紹介



地域の実態を 把握しよう



地域の魅力や課題を 考えてみよう



地域をより良くする Next Actionは？



20% up↑

MRT参加住民の「参加前のMRTに対する期待度」と「参加後の満足度」の平均増加率

いつものメンバーの思いではなく、市職員さん、若者の意見を聞くことができました。とても有意義な時間をありがとうございました。

地区に帰りいろいろやってみ
たいと思います。

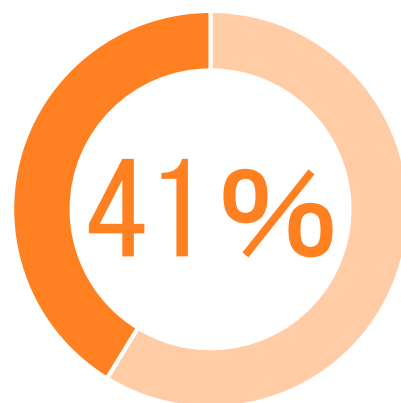


エリア制MRTの延参加者数（住民・職員含む）

※豊川地区、小野地区は都合により不参加

地域や施設など協力すれば実
現できると思う。中学校なども
協力できるならしていきたい。

年代的に得意・不得意の分野が現れるので異なる世
代の方の声が聞けてよかった。

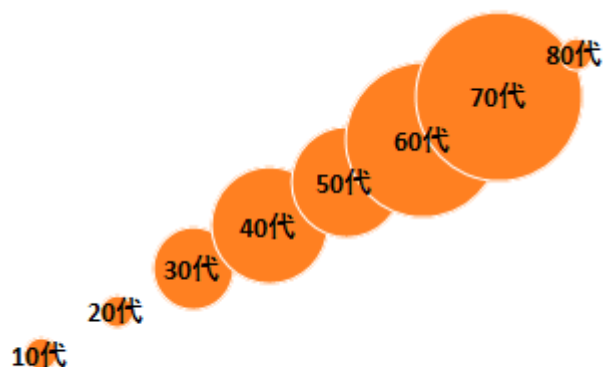


MRT参加住民のうち女性参加者の割合

77%

参加者アンケート中の設問「ワークショップの最後に「魅力化または課題解決策」を作成いただきましたが、地域の中で生かすことができそうですか。」に対して「大いに生かせる」または「生かせる」と答えた参加住民の割合

身近なところからできる解決
策をあげてもらったので、自分
でもできそうな気がします。



MRT参加住民の年齢構成と人数を円の大きさと表したグラフ

※これまでのMRTより30代～50代の参加が増加

平成 29 年度 エリア制M R T の Next Action!



豊かな自然を生かした人とのつながり [安田地区]

来ちゃんさい鎌手 [鎌手地区]

年をとることが楽しくなるまちづくり [種地区]

おいしい北仙 [北仙道地区]

[東仙道地区] 情報発信から後継者確保へつなげる

[都茂地区] 全員参加型（生活環境）

[二川地区] 温泉を活かした交流人口の拡大



ジィ、バアの食ぢからで健康長寿 [匹見下地区]

地域住民こぞっての特産品開発 [匹見上地区]

道川の雪を活かそう [道川地区]

[益田地区] 益田地区のゴミ出しユニバーサルデザイン化

[吉田地区] 高齢者、独居の方の支援

[真砂地区] 5年後の真砂へ



新しい人が定着しやすいまちづくり [高津地区]

地域のつながり、暮らしやすさ [西益田地区]

高齢者の活躍できる場づくり [二条地区]

ひまわりの花のように明るい人脈づくり [美濃地区]

中西でのお助け隊 [中西地区]